

胆振西部塗装組合 町内保育所で塗装ボランティア

10月2日、胆振西部塗装組合（渡部訓雄会長、14社）が、入江保育所と本町保育所で塗装ボランティアを行い、遊具などをきれいによみがえらせた。

このボランティアは、同組合が結成30年を迎えた平成13年から会員の親睦を兼ねて実施。今回は町内の帯川塗装店の提案で虻田町でのボランティアが企画されました。

この日集まった職人さんは16人。色鮮やかなペンキを使って、ブランコ、鉄棒、すべり台など



すべり台を塗り直す塗装組合の皆さん

入江、本町両保育所のおよそ12基の遊具を一つひとつ丁寧に塗り直し、新品同様に変わりました。

黄色い旗の波でドライバーに 交通安全をアピール

9月26日、秋の全国交通安全運動の一環として、「町民総ぐるみ黄色い旗の波運動」が行われました。

この日は、自治会、老人クラブ、農協、商工会、虻田高校などから約150人参加。参加者を前に長崎良夫町長が「平成15年1月7日から続いている死亡事故ゼロが来月2日で1000日を達成します。この記録を2000日まで伸ばすため、交通事故を起こさないように気をつけましょう」とあいさつ。

その後国道37号の高砂広場沿



黄色い旗を振って交通安全をアピール

いに並び、行き交うドライバーに旗を振って交通安全を全員で呼びかけました。

まちのわだい

大磯馬頭観世音碑が3度目の移転

虻田町の文化財に指定されている大磯馬頭観世音碑の遷座祭が10月5日、大磯の移転場



厳かに執り行われた大磯馬頭観世音碑遷座祭

所で行われ、関係者約30人が見守る中新しいお堂に同碑が奉納されました。

従来の場所が北海道の治山事業にかかり、移転せざるを得なくなったため、虻田馬頭観世音碑保存協賛会（岡田光弘会長）が移転補償を使って、約40m豊浦寄りに遷座したものです。

岡田会長は「昭和28年に最初のお堂が建てられてから、3回目の遷座となり、これで安泰。虻田の生き証人としてこれからも存在していくだろう」と大役を果たしほっとした表情でした。

西胆振消防組合と 伊達市消防が統合



西胆振消防組合・伊達市消防広域再編協議調印式

胆振西部5町村で組織する西胆振消防組合と伊達市消防

の広域再編協議調印式が10月3日、伊達市の消防・防災センターで開かれ、平成18年2月1日の組織統合を決めました。

現在6市町村ある西胆振地域が、来年3月虻田町と洞爺村の合併をはじめ、合併、単独などで4市町村に再編される関係もあって、広域化を進めることになりました。

この日、消防職員幹部、消防団幹部など約30人が出席。6首長が協議書に調印し、出席者全員で新西胆振消防組合の誕生を確認しました。